

# 課長の「その質問には答えたくない」発言について

## — 4/20 教育長から議長に回答 —

議会第78号  
平成26年5月14日

多賀城市教育長 菊地 昭吾 殿

多賀城市議会議長 板橋 恵一

東日本大震災調査特別委員会における答弁について  
(照会)

平成26年4月15日(火)に開催された東日本大震災調査特別委員会の質疑において、貴所属職員から委員の質問に対して「答えたくありません」との答弁がなされました。不適切な答弁であったと指摘せざるを得ず、今後このようなことのないように指導願うとともに、当該答弁に対する貴殿の見解を伺います。

教総第 169号  
平成26年5月20日

多賀城市議会議長 板橋 恵一 殿

多賀城市教育委員会  
教育長 菊地 昭吾



東日本大震災調査特別委員会における答弁について(回答)

平成26年5月14日付け議会第78号でご指摘のありました、本年4月15日に開催された「東日本大震災調査特別委員会」において、教育委員会所属職員の「答えたくありません」との答弁につきましては、議論を深め、より良い価値を共に追求する議事の場においては、全くそぐわないものであり、不適切な発言であったと認識し、深くお詫び申し上げます。

また、市立図書館の移転事業に関しましては、これまでの説明の機会において、意を尽くせず、議員の皆様にご理解いただけなかった面も少なからずあったと反省するものであります。

今後は、このたびの件を踏まえ、市議会における説明や質問などに対しましては、より一層、真摯な対応を心掛けていくよう、あらためて、所属職員を指導してまいりますので、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

4月15日の東日本大震災調査特別委員会で藤原益栄市議の「第二次多賀城市図書館基本計画」にある「モノより場、モノより時間」の「モノとは何を指すのか」との質問に対し、武者生涯学習課長が「その質問には答えたくありません」と発言したことについて、4月23日の議会運営委員会で藤原益栄委員は「議員の質問に『答えたくない』は住民自治の否定であり、あり得ない答弁である」と問題にしました。これに他の委員も「不適切な答弁だ」との認識を示し、議長より教育長に見解を問うことになった。この件につき、5月21日午後開催された議会運営委員会に経過の報告が行われました。報告によれば議長は、5月14日に市長と教育長に文書を提出しました。教育長あて文書は左上のとおりです。これに対し、5月20日に議会に対し菊地昭吾教育長名で「議事の場において、全くそぐわないものであり不適切な発言であったと認識し、深くお詫び申し上げます」「あらためて、所属職員を指導してまいり所存でありますので、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます」との回答がありました。

「教育長」文書は非は認められていますが発言した職員にたいどういう対応をしたかは不明です。議長からの報告を受け藤原市議は「議運の確認に基づく議長をはじめ関係者のご努力には感謝を申し上げます。教育長も非を認めている点については評価する。

ただ、問題発言が繰り返されており、反省と謝罪ですむ問題でもない。この発言は東日本大震災調査特別委員会での発言であり、なお質したい点については同特別委員会が発言をすることにした」と述べました。